



やらまいか

例会日：毎週火曜日 12：30 例会場：豊川商工会議所

会長：水野太一 幹事：岩瀬靖宏 SAA：永田恵照 会報委員長：小田伊佐浩

事務局：豊川市豊川町辺通 44 豊川商工会議所会館内 0533-86-2535 Fax0533-86-8889

ホームページ <http://toyokawahoi.tank.jp> Email hoirc@sala.or.jp

クイズ：親睦そして感謝

本年度第34回 通算1151回 平成22年3月30日(火) 晴

ゲスト ボラン・コラボ穂の国7の参加高校の皆さん

国府高校生徒4名・斉藤先生 小坂井高校生徒5名・岩月先生
 豊川工業高校生徒5名・白井先生 豊川高校生徒2名・黒田先生
 宝陵高校生徒4名・横山先生 御津高校生徒6名・椋山先生
 蒲郡高校生徒1名・山方先生

ビジター 古澤武雄さん(岡崎RC)

出席報告 林博宣委員長

| 会員総数 | 計算会員数 | 本日の出席者数 | 本日の出席率 | 3/16修正出席率 |
|------|-------|---------|--------|-----------|
| 55名 | 43+5名 | 32名 | 66.7% | 100% |

司会進行 杉浦節子SAA

会長の挨拶及び報告

水野太一会長



こんにちは。春の選抜高校野球大会が始まりました。愛知県代表の春夏連覇を狙う中京大中京高校の選手たちもプレッシャーの中、一回戦、二回戦と勝ち進みました。大変に厳しい試合でしたが、昨年の夏に優勝した自信かもしれません。プロ野球も開幕し、春になって盛りだくさんのスポーツで、毎日が楽しみです。ただ、季節の変わり目などで体調など崩されないように気をつけて頂きたいと思います。

ちもプレッシャーの中、一回戦、二回戦と勝ち進みました。大変に厳しい試合でしたが、昨年の夏に優勝した自信かもしれません。プロ野球も開幕し、春になって盛りだくさんのスポーツで、毎日が楽しみです。ただ、季節の変わり目などで体調など崩されないように気をつけて頂きたいと思います。

幹事報告

岩瀬靖宏幹事

例会臨時変更

田原パシフィック、豊橋ゴルフ、豊橋奥三河RC40周年事業についての案内
 ゴルフ同好会コンペ開催について

新世代委員会担当例会

高校生ボランティア活動報告

委員長あいさつ

細井副委員長

こんにちは。星川委員長急用のため代理を務めさせていただきます。本日は、ボラン・コラボ穂の国7の6高校の生徒の皆さんにお越し頂いております。この一年間の活動の報告や今後の活動の見学をして頂きます。なお、本日は、オブザーバーとして、蒲郡高校の先生と生徒さんも出席をされております。それでは、皆さん宜しくお願ひします。



宝陵高校の発表

宝陵高校のボランティア部です。私たちは、この一年間、例年同様に先輩から受け継いできた活動を続け



ると共に、更に活動を充実させるように努力してきました。春と秋には、豊橋駅東口であしなが育英会の募金活動を行いました。大きな声で募金を呼びかけ、多くの人に募金して頂く事ができました。7月には学校の近くにある、身体障害者支援施設の希全センターで七夕会を行ないました。入所者の方々と短冊を書き、いろいろなお話をしました。10月に行われた学校の文化祭では、国連児童基金ユニセフの活動を紹介し、募金を呼びかけました。12月には、新城市手をつなぐ育成会のクリスマス会で影絵を上演しました。その時、ロータリークラブから頂いた活動資金を材料費などに使わせて頂きました。改めて、この場をお借りして御礼申し上げます。本当にありがとうございました。2学期末の体験発表会では、先ほどの影絵を上演し、全校生徒にボランティア部の活動の一部を知ってもらいました。部員の連携もスムーズに出来、楽しく上演できました。これからも影絵の上演を続け、内容も一層充実させレパートリーも増やして行きたいと思えます。夏休み、冬休み、春休みなどの長期休暇中には、学童保育支援を行っています。新城市のひだまりの家で行われる学童保育の支援に参加し、他のボランティア組織の方々やお母さんたちと共に、子ども達と一緒にゲームをしたり散歩をしたりします。子ども達とは、言葉だけでなく、笑顔でコミュニケーションを取れるようにしています。私たちが多くの人と過ごす時、相手が大人の人でも子どもでも、自分たちには多くの笑顔や優しさが与えられます。奉仕の気持ちだけでなく、感謝の気持ちも忘れずに、これからもボランティア活動に取り組んでいきたいと思えます。

御津高校の発表

御津高校のボランティア活動の報告を始めます。まずは、生徒会ボランティア活動です。



赤い羽根募金活動は、多くの生徒に積極的に参加してもらうことができました。御津高のタオル（ピンク・黒）の販売をして募金を呼びかけています。校外奉仕活動で、学校周辺の清掃活動を生徒会執行部、美化委員会、サッカー部などの有志部活動部員で行ないました。同窓会より「チーム御津」と背中に書いてあるパーカーを寄贈してもらったので着て行きました。校内、学校周辺、御津駅周辺など除草やゴミ拾いを2時間ほど行ないました。落ち葉や空き缶などゴミ袋が一杯になりました。通学路が綺麗になり、次の日の朝、気持ちよく登校することが出来ました。

ボランティア部の活動を紹介します。豊川市社会福祉協議会主催の青少年ボランティア体験学習の乳幼児・保護者との交流会に参加しました。赤ちゃんに触れ合えたし、たくさんのお母さんと交流ができ、とても良い体験になりました。豊川彩幸に行き、高齢者の人たちとペーパーフラワーの「ひまわり」と「りんどう」の製作をしました。豊橋聾学校のPTA親子活動に参加しました。ペーパーフラワー作りを皆さん



に体験してもらいました。御津の広石公民館で行なわれたディサービスのモーニング会に参加しました。元気一杯の高齢者の方たちと楽しい会話、ゲーム、体操など行いました。

ボランティアとは、活動を通してお互いに知り合うことで、自分が与えることではなく、様々な思いを共有し相手の存在を意識し、考え、行動すること、他を思いやることで、私たち自身が成長できるということがわかりました。

国府高校の発表



私たちの学校は、年間でいくつものボランティア活動を行っています。その活動の中心は、私たち生徒会です。今年度の最初の

活動は、5月21日に豊川市ゆうあいの里で行いました。私たち生徒会にとっては、最初の活動であり、しっかり会を進行できるかどうか、何よりも参加してくれる人がいるかどうか心配でした。サッカー部など、部活単位で約40名が参加してくれました。このボランティア活動を絶対に成功させようと思いましたが、心配された天候にも恵まれ、施設まで、公共交通機関や自転車で向いました。作業の内容は、施設内の草刈など2時間ほど行いました。2時間がとても短く感じられました。

10月に吹奏楽部がボランティア活動として演奏活動を行いました。この活動は、音楽の発表を通し地域住民との交流を図り、お互いが関わりあうことで地域の活力を生み出そうということを目指しています。本校以外にも多くの学校が参加していて本格的な音楽祭となりました。

赤い羽根募金活動を11月に行いました。2日間、生徒会がクラスの代表者に呼びかけ、教室内で募金活動を行いました。中には非協力的な生徒もいましたが、その人は全く協力する気がないわけではないが、世界が今どうなっているのか、自分たちより不自由な人たちがどのくらいいるのかを知って頂ければ、今まで以上に協力してくれる人が増えるのではないかと思います。そのような事を伝えることも生徒会活動として大切なことだと思います。

2月に国府の市ウォークラリーに参加しました。スタンプラリーの運営や後片付けをしました。私たち生徒会は、国府の市がスムーズに進行できるようにお手伝いしました。

年間を通して、中間考査後や期末考査後に学校周辺美化活動を行いました。毎年100名を超える大規模な清掃活動で、学校周辺の草取りやゴミ拾いを行っています。部活単位で参加してくれる生徒も多く、私たち生徒会は助かっています。地元の駅や通学路など毎日

通る道を感謝の気持ちを込めて清掃活動に取り組んでいます。私たちがボランティア活動をするに辺り、少し気になるのが、有志の人が少ないことです。部活単位で参加してくれるのは、とても有り難いことですが、個々の有志が少ないことは残念に思います。

ボランティアとは何かという問いに、その人たちはどう思っているのか、なぜボランティアをするのか、ということが良くわかっていないのだと思います。今回の交流会のテーマでもある「ボランティア活動をなぜするのか」という問いに対して私たちは考えました。しかし、なぜするのかという問いに対して、しっかりした答えが持てず、なので、今回の交流会で答えができるように、様々な学校の皆さんと話し合いたいと思います。そして、今回話し合った事を、生徒会として本校の生徒に伝えたいと思います。

小坂井高校の発表



小坂井高校では、1年を通していくつかのボランティア活動を行っています。今回は、クリーン大作戦について報告します。ク

リーン大作戦は、学校内や学校付近の掃除をし、生徒にボランティアへ関心を持ってもらうことです。今回の大作戦は、12月の期末テスト後の午後に行いました。毎年、期末テスト最終日の午後に行っています。今年の参加人数は、教員33名、生徒444名の477名で行いました。生徒444名は、全校生徒の約半数で、多くの生徒が自主的に参加してくれました。これは、生徒のボランティアへの関心が高い事を表していると思います。掃除場所は、学校内、学校周辺、国道151号線沿い、豊川放水路、小坂井駅周辺です。時間は約1時間。軍手、火バサミ、ゴミ袋など必要な道具は生徒会で用意しました。そしてこの旗(のぼり)を用意しました。この旗は、生徒の意欲の向上とクリーン大作戦を全校生徒にアピールする為です。実施日の10日前から、生徒全員が通る玄関付近に5本設置しました。旗の設置で多くの生徒が参加してくれたと思います。当日は学校外を清掃する生徒に持ってもらい、

地域にもアピールをしました。どの生徒も一生懸命に清掃しているのがわかりました。たった1時間で多くのゴミを集めてきてくれました。今回の活動で学校内、学校周辺がとても綺麗になったと思います。学校内のゴミは飴などの包み紙、ペットボトルなど多くありました。ボランティアへの関心は高いと思われませんが、ゴミを捨てないことへの関心はまだだだと思います。これからは、まず学校内のゴミをゼロに出来るように生徒会で呼びかけをして、ひとりひとりの意識の向上が出来るようにしていきたいと思っています。このクリーン大作戦は、10年以上も続く小坂井高校の伝統でもあります。今回きれいになった現状維持のため、ひとりひとりの意識の向上のための一つの方法として、生徒会が中心となり、これからもこのクリーン大作戦を続けて行きたいです。

豊川工業高校の発表

豊川工業高校のボランティア部の発表をします。僕たちは、今年は昨年と同様にキャンドルナイトという計



画を立てました。まず昨年の場合には、ペットボトル型のものを用意しました。今年はプラスして、シーボーンアートというゴミを芸術品にするものをピックアップしながらやっていきたいと思っています。前回の改善点として、風除けの瓶型のキャンドルナイトも考えております。

シーボーンアートとは、シーが海、ボーンが生まれる、アートが芸術です。つまり海から生まれた芸術品です。ガラスと貝を使用しています。これは海から拾ってきたものです。

砂浜は、夏になると地域の方々が危ないからと清掃してしまいます。ですが、このようにして芸術品にすることができ



るので、エコ活動ということでもあり、資源を大切にするという呼びかけをする目的で作りました。

私たちは、毎月1回、豊川商工会議所主催の豊川少年少女発明クラブの「子どもものづくり教室」のお手伝いに参加しています。私たちが子ども達の補助をして、あくまでも子ども達の手で一つの作品を作れるようにお手伝いをしています。毎回2時間ぐらいで子ども達と一緒に楽しく作品を作っています。

この他にも、天平の里やホタルの郷のお祭りなどの様々な活動をしています。すべての活動において部員が楽しく活動ができています。僕たちの部活のスローガン「ハッピースマイルボランティア」誰かの笑顔の為にボランティアをするという想いで、これからも積極的にボランティア活動を頑張っていきたいと思っています。

豊川高校の発表

豊川高校のボランティア活動について報告します。本校では、部活動が中心となって地域と結びついた活動



を行っています。生徒会、和太鼓部、ダンス部、吹奏楽部、チアリーディング部、インターアクト部、放映部が中心となってボランティア活動を行っています。

和太鼓部は7月の豊橋大賀里夏祭り、8月の大須商店街和太鼓フェスティバル、12月の小坂井町との合併式典、地域のお祭りや記念式典で演奏しています。これらの活動を通じて地域の人たちに喜んでもらえることを参加したみんなが感じるとともに、地域の皆さんの支えを実感しました。

チアリーディング部では、8月に若竹荘のたけのこ夏祭り、24時間テレビへの出演、10月に自衛隊豊川駐屯地59周年記念式典、1月に自衛隊豊川駐屯地の音の祭典と幅広くステージを発表しました。チアリーディングの良さを地域の皆さんに知って頂く事ができ、また自分たちも楽しみ、地域の人たちにも楽しんでもらう事を実感しました。

ダンス部では、3月に豊橋賀茂地区老人クラブ総会、6月に豊川養護学校の生徒交流会、7月に稲荷楽市でダンスステージを発表しました。稲荷楽市では、地域の人たちから温か

い応援を受け、またダンスの楽しさを知ってもらえることが出来て、皆さん喜びを感じています。

吹奏楽部では、6月に稲荷楽市フェスタと麻生田敬老会での演奏、12月に睦美保育園クリスマスコンサートを開きました。クリスマスコンサートは、子ども達が楽しんでくれるような曲や企画を考えました。楽しんでくれるか、飽きないかなどの不安はありましたが、歌ったり、踊ったり楽しい時間になりました。子どもからお年寄りまでたくさんの人たちに、音楽に触れて楽しんでくれる時間ができて良かったです。

インターアクト部は、ボランティアをする部活です。地元の養護老人ホーム平尾荘や児童養護施設光輝寮を中心に毎月1回施設訪問をしています。お年寄りや子どもと触れ合っ、人々の喜ぶ姿を見ることができ、それが自分たちの楽しみとなっています。

放映部は、2月にまちなか元気シンポジウムで、豊川市中心市街地PRビデオを作製して発表をしました。

生徒会は、5月においでん祭で難民衣料支援ボランティアを豊川工業の皆さんと取り組み、11月には豊年じゃ祭の運営のお手伝いを行い、20名が参加をしました。12月には養護老人ホームのお年寄りの方に年賀状を送る、豊橋善意銀行の愛のボランティア年賀状活動に参加し、この活動には30名の生徒が参加しました。1月には奨学支援金財団1億円募金に取り組みました。この活動は、経済的理由で学校に通えない仲間を救う為の募金で、今回は豊川高校生だけでなく、安城学園や日本福祉大学付属高校の生徒も一緒に取り組みました。この活動で地域の皆さんの心の温かさを感じました。生徒会では、他にも他校との交流会を設け、各学校でのボランティア活動について話し合っって視野を広げ、多くの活動に参加できるようにしています。

このように、豊川高校のボランティア活動は、部活動と生徒会が中心となり地域と繋がっています。その中で、仲間の活躍や地域の方々の支えを感じながら頑張っています。これからもご支援をよろしくお願ひします。

一つご案内です。6月下旬に、生徒、地域の方、誰でも参加できるフォーラムを開催します。またご案内しますので、よろしくお願ひします。

~~~~~交流会レポート~~~~~

例会終了後に、「ボラン・コラボ穂の国7」の交流会が行われました。4つのグループに分かれてテーブルディスカッションをしました。

テーマ

「なぜ、ボランティアをしているのか」

交流会のまとめ

- ボランティアは自分たちのためにやること
- 自分を見つめなおしたり、自分の成長のためにやる
- お互いに気持ちも良いし、交流することで視野も広げれる
- ボランティア活動は、奉仕活動で、見返りを求めない活動です。この活動を通して地元への愛着や達成感などがあるからこそ、どの学校でもボランティア活動が続いている
- キッカケは様々だけど、ボランティア活動を通じて、自分が成長できたり、地域の人との交流が深めれる、相手の人の笑顔がみれてうれしいから続けてこれた
- 活動を通じて、もっと自主的に参加してくれる人を増やしたい。



ニコニコボックス

その他

- | | |
|----------|-------------|
| 金田 証宏 会員 | 誕生日を祝って頂き |
| 小野 喜明 会員 | ハーフマラソンを完走 |
| 太田 稔 会員 | 〃 |
| 土井 昌司 会員 | 〃 |
| 大島 嗣雄 会員 | 所要にて途中退席します |

会報担当者：小田伊佐浩会員、鈴木啓仁会員

このウィークリーは再生紙を使用しています。